

札幌都心アクセス道路検討会（第4回） 議事概要

1. 日 時 平成30年3月13日（火）16時00分～17時00分

2. 場 所 T K P 札幌駅カンファレンスセンター2B

3. 出席者

- 札幌市 中田都市計画担当局長
- 北海道 渡邊建設部長
- 北海道開発局 原建設部長

4. 議 事

- (1) 市民との情報共有に係る取組
- (2) 検討結果のとりまとめ
- (3) 今後の札幌都心アクセス道路の進め方

【 主な発言 】

- ・北海道新幹線札幌延伸や人口減少社会、まちの更新時期の到来など、北海道全体及び札幌市の将来を見据え、都市の魅力と活力を高め、北海道の中心となる札幌都心の高次都市機能を維持向上していくためにも、札幌都心と高速道路を結ぶ幹線道路機能を有する都心アクセス強化軸が必要
- ・都心と高速道路のアクセスを強化し、広域交通ネットワークの充実を図ることにより、北海道新幹線札幌延伸の開業効果の全道への波及拡大や広域医療・暮らしの利便性向上等が期待
- ・交通拠点等から高速道路へのアクセス改善や札幌駅交流拠点を含む沿線のまちづくり計画との整合など、整備効果を最大限に発揮するための取組については、北海道・札幌市としても引き続き実施
- ・現道条件や渋滞・冬期等の交通課題、沿道環境、地域のまちづくり計画等に配慮し、交通機能・整備効果・費用等を踏まえた、高架構造・地下構造・交差点改良の対策案を検討。今後、整備計画の具体化に向け、国が主体となり概略ルート・構造の検討を実施
- ・高速道路（札幌道）等の既存道路との連結等については引き続き検討
- ・都心アクセス強化の検討状況について、検討の段階に応じ、市民等に情報提供を実施。今後も市が中心となり市民との合意形成に向けた取組を実施
- ・幹線機能を有する道路整備を目的としていることから、国による整備、国と市による費用負担が望ましい
- ・今後も創成川通の課題解決に向け、3者連携のもと本検討会を必要に応じて開催

以上